

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	科学英語		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	片桐 伸将	実務経験とその関連資格	博士(工学), 職業訓練指導員免許(メカトロニクス等), 10年以上にわたり国立循環器病研究センター研究所にて医療機器の研究開発および1～5回/年程度の国内外学会発表			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士として必要な英語能力を修得する目的で、技術英検3級以上の取得を目指す。特に、文章全体の大意をつかめる英文読解力を身に付け、基本的な文法や単語力を習得する。授業では章ごとに英文和訳を行い、熟語を解説すると共に、章末の練習問題や過去の技術英検問題も多用して、技術英検の受験に向けた基礎英語力も高める。						
《成績評価の方法と基準》						
テキスト(工業英語ファーストステップ)の章末問題を、各学生に解答させ、その評価内容を総合評価のうちの10%分の平常点とし、出席点で20%、定位的に実施する小試験と期末試験を合わせて70%として成績を出す。ただし、前期中に実施される技術英検について、受験級は問わず、合格した場合はこの授業単位を認定とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
技術英語ハンドブック 技術英検2・3級用(日本工業英語協会)、工業英語ファーストステップ [®] 工業英検4級へのアクセス(日本工業英語協会) をテキストとして用いる。						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業で行う確認テスト対策として指定箇所の英単語の記憶と、英語理解力を身に付けるためテキストを事前に学習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術英検の2・3級の合格を目指す対策授業であるため、既に専門用語として多用されている英語を身近な言葉として捉え、高校までの英語基礎力については復習しておくこと。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar:位置を表す前置詞や熟語を理解する。		教科書	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	授業の進め方についてのオリエンテーションと、技術英検の試験概要について説明を行う。テキストの「UNIT01:レバーと機械」について学習する。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar:運動を表す動詞や熟語を理解する。		教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT01:レバーと機械」について確認テスト。 テキストの「UNIT02:工業用材料」について学習する。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar:形を表す形容詞や名詞を理解する。		教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT02:工業用材料」について確認テスト。 テキストの「UNIT03:栄養物」について学習する。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar:比較を表す形容詞の活用と文法を理解する。		教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT03:栄養物」について確認テスト。 テキストの「UNIT04:原子の構造」について学習する。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	最近出題された技術英検の過去問に取り組み、位置を表す前置詞や熟語を理解する。		教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	これまでの技術英検の試験問題について、出題ポイントを解説し、自力で解答して答え合わせまで行い、5月の試験に備えて実力アップを図る。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 単位・基準を表す名詞と関連付けた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT04: 原子の構造」について確認テスト。 テキストの「UNIT05: 電気」について学習する。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 文型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと技術用語に関連付けた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT05: 電気」について確認テスト。 テキストの「UNIT06: 航空機と航空機エンジン」について学習する。		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 文型Ⅳ・Ⅴと技術用語に関連付けた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT06: 航空機と航空機エンジン」について確認テスト。 テキストの「UNIT07: 温度差によって起こる風」について学習する。		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 進行形と過去形を用いた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT07: 温度差によって起こる風」について確認テスト。 テキストの「UNIT08: 橋」について学習する。		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 助動詞を用いた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT08: 橋」について確認テスト。 テキストの「UNIT09: 飲み水の浄化」について学習する。		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 現在完了を用いた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT09: 飲み水の浄化」について確認テスト。 テキストの「UNIT10: 電気整備」について学習する。		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 接続詞の分類とそれを用いた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT10: 電気整備」について確認テスト。 テキストの「UNIT11: ガソリンの精製」について学習する。		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 関係詞の分類とそれを用いた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT11: ガソリンの精製」について確認テスト。 テキストの「UNIT12: 騒音と公害」について学習する。		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 受動態を用いた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT12: 騒音と公害」について確認テスト。 テキストの「UNIT13: コンピュータソフトウェア」について学習する。		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	Grammar: 不定詞の用法の分類とそれを用いた表現を理解する。	教科書	教科書から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	テキストの「UNIT13: コンピュータソフトウェア」について確認テスト。 テキストの「UNIT14: 立ち入り禁止」について学習する。		